

地質情報コンソーシアム（GIC）の活動と各国地質調査機関における情報管理

Activity of the Geoscience Information Consortium and geoinformation management in foreign geological survey organizations

阪口 圭一 [1]; 古宇田 亮一 [1]

Keiichi Sakaguchi[1]; Ryoichi Kouda[1]

[1] 産総研

[1] AIST

地質情報コンソーシアム（GIC：Geoscience Information Consortium）は、各国の地質調査所相当機関の地質情報整備・管理マネージャ間の共同連携を促進することを目的として、運営されている組織である。GICへの参加は、カントリー・レポートの提出などを条件に、すべての国に開かれている。2009年1月現在、参加国は25か国で、そのうち19か国を欧州諸国が占める。その他は、米国、カナダ、オーストラリア、ナミビア、南アフリカ、日本（産総研 地質調査総合センター）である。毎年1回、定例会議を開催しており、会議はメンバー国のが回り持ちで開催している。会議は、カントリーレポート、トピックプレゼンテーション、全体討議、ビジネスミーティング等から構成される。各国の地質情報整備政策と現状を紹介し、最新技術動向の紹介や今後の連携戦略等を議論し合う場として、重要な情報源となる。その年の会議に参加しないメンバー国にも、カントリー・レポートの提出は義務付けられている。各国報告はメンバー限りに公開されている。講演では、GICの活動およびカントリーレポート等からみた各国の地質情報管理の状況を紹介する。

GIC ウェブサイト：

<http://www.g-i-c.org/>